

もくじ

国語 小3下

第1回	かおるのたからもの／熟語のでき方……	4
第2回	海賊モーガンはぼくの友だち／四字熟語……	12
第3回	世界と日本／擬声語・擬態語……	20
第4回	人間のからだ／思ったことを表す言葉……	28
第5回	ききみみずきん／同類語……	36
第6回	マザー・テレサ／反対語……	44
第7回	食糧生産とわたしたちの生活／ことわざ(3)……	52
第8回	秋の季節と生き物／ことわざ(4)……	60
第9回	霧のむしうのふしぎな町(1)／敬語……	68
第10回	霧のむしうのふしぎな町(2)／論理(1)……	76

第11回	工業生産とわたしたちの生活／論理(2)……	84
第12回	天気の変化／慣用句(3)……	92
第13回	ムカシのちよつといい未来／慣用句(4)……	100
第14回	言葉のきまり(2) つなぎ言葉・ことわざ言葉……	108
第15回	作文の練習／ローマ字……	116
第16回	学年のまとめ①物語／小3知識まとめ(1)……	124
第17回	学年のまとめ②詩／小3知識まとめ(2)……	132
第18回	学年のまとめ③説明文／小3知識まとめ(3)……	140
	ローマ字表……	148

本書の使い方

例題

「読む基本」では、物語や説明文を読むときに役立つ視点を、
 継続して学習していくことで身につけていきます。

例 とうじきんぶつ なん
登場人物は何人いるか。だれが言った言葉か。ことば
など

練習問題

文章中から答えを見つけられる『分析・評価問題』と、文章中からは見つけられないが読んで考えるとわかる『推論問題』とが、思考のプロセスに沿って出題されています。

「練習問題」でも「例題」に引き続き、『分析・評価問題』と『推論問題』が思考のプロセスに沿って出題されています。最後には「思考・表現^{ひょうげん}チャレンジ」のコーナーを^{もう}設けました。ここでは、自分がどのように考えたかのプロセスを表現する練習をします。

言語事項

★ 熟語のでき方

- 「字」は、左右などのように、二つ以上の漢字がむすびついて一つの意味を表す言葉を熟語といいます。熟語のでき方には、次のようなものがあります。
- (1) 同じ漢字を重ねたもの。
例(い) 大木(木々・山々・山々)
ほかに、「人々」「花々」「家々」などがあります。
 - (2) 似た意味をもつ漢字をむすびつけたもの。
例(い) 行く+進む+行進・若+若し+若手
ほかに、「通行」「幸福」などがあります。
 - (3) 反対の意味をもつ漢字をむすびつけたもの。
例(い) 男女+男女・前+後+前後
ほかに、「多少」「明暗」「大小」などがあります。
 - (4) 上から下につけて読むと、意味がわかるもの。
例(い) 鉄の橋+鉄橋・青い空+青空
ほかに、「親友」「美人」などがあります。
 - (5) 下から上にとって読むと、意味がわかるもの。
例(い) 金を聞く+聞金・火を消す+消火
ほかに、「決心」「集金」などがあります。

1 次の(1)～(5)のでき方の熟語を、あとの□から選び、書きまわしなさい。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
黒い	黒い	黒い	黒い	黒い
河川	河川	河川	河川	河川
読書	読書	読書	読書	読書
神々	神々	神々	神々	神々
強弱	強弱	強弱	強弱	強弱
身体	身体	身体	身体	身体

この学年で身につけておきたい
さまざまな言葉を学習します。

ホームワーク

ホームワーク かおるのたからもの

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますので、安心ください。

- ①「かおるの話」とありますが、かおるは、おとうさんに、どのような話をしたと考えられますか。
- ア 杉田くんがいない。
イ 杉田くんがいない、かわりの本じやだめといった。
ウ 杉田くんが、あれはたいせつな本だといった。
エ 杉田くんがわけを教えた。
- ②「第一」「第二」「第三」とありますが、ここでは何が三つあげられているのですか。
- ア 杉田くんの本のひみつ。
イ 杉田くんが本をたいせつにしていること。
ウ 杉田くんが、あれはたいせつな本だといった。
エ 杉田くんがわけを教えた。
- ③「線②」かおるは、じふんのもていでいるたいせつなものを、ひとつひとつ思い浮かべて考えてみました。ありますが、次の中で一つだけちがう特ちょうのものがあります。それはどれですか。
- ア 貯金ばこ
イ たからものはこ
ウ 本
エ 貝殻

「例題」「練習問題」で習得した読み方・
考え方をを使って1人で解いていきます。

その他の特長

説明文の文章について

説明文では、私たちの住む社会や、私たちの身の回りにある自然を題材とした文章を扱います。その内容は小学校で学習する理科や社会の知識と結びついていきます。国語の学習をしながら、理科や社会の見方・考え方が身につけられる構成にしています。

言葉の単元について

文章読解以外にも、言葉の力をつけるための特別な単元も盛り込みました。ここでは、主に主語・述語・修飾語など文のしくみを理解し、短文を書く練習や短い文章を使って文のしくみを正しく理解するトレーニングなどをします。

例題

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15

10

5



読む基本

□ 線㉑「日本人の主食はコメだ」という意見にたい

して、線㉒「いや、そんなことはない」と言ってい

ますが、㉓は㉑にたいする、どのような意見ですか。

ア 賛成する意見。

イ 反対する意見。(反論)

ウ 疑問をなげかける意見。

エ 賛成でも、反対でもない意見。

☐

□ (1)

線㉔の意見を言った人は、主食とは、どのようなものだと考えていますか。

ア 自分が食べているもの。

イ 毎日食べているもの。

ウ かつてみんなが食べていたもの。

エ おもなエネルギー源になってきたもの。

☐

□ (2)

線㉕「主食とは何なのか」とありますが、この文章によれば、「主食」とは何ですか。主食が何かを説明している一文をさがし、はじめの六字を書きぬきましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

〔世界の主食〕本書のための書き下ろし

40 35 30 25 20

□(3)

——線②「コメやムギのなかまと、イモのなかま」とありますが、次の地^{つぎ}いきでは、アとイのどちらを主食として食べていますか。(答えは一つとはかぎりません。)

① 日本や中国など、アジアの国々

--

② ヨーロッパ

--

③ アフリカや太平洋の島々

--

ア コメやムギのなかま

イ イモのなかま

□(4)

——線③「じょうけん」とありますが、ここでは、じょうけんが、いくつあげられていますか。漢^{かん}数字で答えましょう。

--

つ

□(5)

この文章によると、コメが、一年中いつでも食べられるのは、なぜですか。

ア コメが干されているから。

イ コメはいつでもとれるから。

ウ コメは栄養があるから。

エ コメは日本人の主食だから。

--

♠ 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。



練 れん

習 しゅう

問 もん

題 だい



著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(森枝卓士「世界100の市場を歩く」より)

35 30 25

□(1) 文章中の【 】で囲まれた部分から、どんなことがわかりますか。

- ア 市場が食材を買うためだけの場所であること。
イ 市場が食材を買う場所ではないこと。
ウ 市場が飲み食いでできる場所でもあること。
エ 市場が飲み食いでできる場所ではないこと。

□(2) 線①「居酒屋兼喫茶店」、線②「バルのスペース」とは、ここでは、どのような場所のことですか。

- ア 市場の場所。
イ 食材を買う場所。
ウ 飲み食いする場所。
エ 屋台の場所。

□(3) 線③「メンドーサ」とは、どこの国の町だと考えられますか。六字で書きぬきましょう。

□(4) 線④「東南アジアを頂点に」とありますが、これは「市場の外食の場所」の数をいつたものですか。どのような意味を表しますか。

- ア 東南アジアがいちばん多い。
イ 東南アジアがいちばん少ない。
ウ 東南アジアにはひとつしかない。
エ 東南アジアにはひとつもない。

□(5) 線⑤「外で気軽に食べることを『よし』とする文化圏と、そうでもないところがある」とありますが、この文章によれば、「そうでもないところ」とは、どのようなところですか。

- ア 市場がまったくない。
イ 市場に屋台がたくさんある。
ウ 市場に食材の売り場が少ない。
エ 市場に外食の場が少ない。



思考・表現チャレンジ

文章の内容にそって、次の問いに答えましょう。

□① 「市場」とは、どのような場所ですか。

□② 筆者（この文章を書いた人）の考えによると、どのような国の市場ほど、市場の外食の場が多いですか。自分の言葉で答えましょう。



ポイント

(1) 擬声語とは

「擬声語」は、何かの音や、人や動物の声を、そのままねして表した言葉のことです。ふつうはかたかなで書きます。

【れい】 モーモー（牛の鳴き声）

コンコン（軽くうったたたいたたりする音）

ガシャン（はげしくぶつかってこわれる音）

(2) 擬態語とは

「擬態語」は、人やものから受ける感じや様子を表した言葉のことです。ふつうはひらがなで書きます。

【れい】 ねばねば（ねばり気のある様子）

だぶだぶ（服がおおきい様子）

あたふた（ひどくあわてる様子）

擬声語は音や声をそのまま表したのですが、擬態語はそうではないので、ちがいに気をつけましょう。

1 次の——線の言葉は、擬声語・擬態語のどちらですか。擬声語ならア、擬態語ならイと書きましょう。

□(1) せみがミンミンと鳴く。

□(2) 赤ちゃんがすやすやねている。

□(3) ガラスがバリんとわれる。

□(4) 歯がずきずきといたむ。

□(5) ふかふかのふとんでねる。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

2 次の文の——線部はどんな言葉で表せますか。あとのア、ウから一つずつえらび、記号で答えましょう。

□(1) 友だちが小さい声で弱々しくなっている。

ア こそこそ イ しくしく

ウ おどおど

□(2) すいているプールで止まらず軽やかにおよぐ。

ア ひらひら イ そよそよ

ウ すいすい

③ 次の文の にあてはまる言葉をあとのア～オから一つずつえらび、記号で答えましょう。

- (1) ゆうべあまりねていなかったので する。
 □ (2) 妹と弟がへやのすみで と話している。
 □ (3) 小さい子たちがお店の中を と走り回る。
 □ (4) このごろこの選手は と力をつけてきた。
 □ (5) ドアが風で と閉まる。

ア バタン イ こそこそ ウ うとうと
 エ めきめき オ パタパタ

- (1) (2) (3) (4) (5)

④ 次の音や様子に合う言葉をあとのア～ウからそれぞれ一つずつえらび、記号で答えましょう。

- (1) 雨がはげしく降る音。
 □ (2) かみなりがはげしく鳴る音。

ア ゴロゴロ イ バサバサ
 ウ ザーザー

- (1) (2)

- (2) ① すこしだけ見る様子。
 ② 長い間よく見る様子。

ア きよろきよろ イ ちらり
 ウ じろじろ

- (1) (2)

⑤ 次の文の にあてはまる言葉を、あとの かえらんで書きましょう。

□ (1) 朝からあたまが いたい。

□ (2) 紙を やぶく。

□ (3) くつの音が ひびく。

□ (4) 星が かがやく。

コツコツ きらきら ずきずき ビリビリ

⑥ 次の――線の言葉は、それぞれどんな感じのする言葉ですか。あとのア～エから一つずつえらび、記号で答えましょう。

- (1) さわってみると ねばねば していた。
 □ (2) さわってみると つるつる していた。
 □ (3) さわってみると ざらざら していた。
 □ (4) さわってみると さらさら していた。

ア 表面(ひょうめん)にこまかいでこばこがあつてなめらかでない感じ。

イ しめりけやねばりけがない感じ。

ウ 表面がなめらかでつやのある感じ。

エ ねばり気があつてほかのものによくくっつく感じ。

- (1) (2) (3) (4)



ホームワーク 世界と日本

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(1) 【会話】の田中さんが、インドで食べたカレーの、コメの種類は、何だと考えられますか。あてはまる言葉を、五字で書きぬきましょう。

米

□(2) 日本で食べられている、コメの種類は何ですか。あてはまる言葉を、五字で書きぬきましょう。

米

□(3) ———線①「コメの調理方法」とありますが、この文章でしかうかいされている方法は、いくつありますか。漢数字で答えましょう。

--

つ

□(4) 【会話】の田中さんが、インドで食べたコメは、どんな方法で調理されたものと考えられますか。書きぬきましょう。

--

（「世界の主食」本書のための書き下ろし）

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

40 35 30 25 20

□ (5) — 線②「なじみのあるもの」とありますが、【会話】
の田中さんにとって、「なじみのあるもの」とは、何だと
考えられますか。

- ア ねばりけがあって、もちもちしたコメ。
- イ ねばりけがなくて、ぱらぱらしたコメ。
- ウ ねばりけがなくて、もちもちしたコメ。
- エ ねばりけがあって、ぱらぱらしたコメ。

□

言葉トレーニング

◎ 次の文の——線の音や様子を表す言葉をあとのア～
ウから一つずつえらび、記号で答えましょう。

- (1) 妹が大きな声でわらう。
 - (2) 友だちが元氣なく歩いている。
 - (3) 風が強くふく。
- ア とぼとぼ イ げらげら ウ ビュービュー

(1) □
(2) □
(3) □